

日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第1回ハイレベル会合

資料 1 - 1

1 概要

- ネーピードーにて、日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第1回ハイレベル会合を開催(平成26年9月23日)。日本企業(14社)、JICA、JETRO、在ミャンマー日本国大使館の代表も出席。
- 今後、日本とミャンマーの官民が連携し、ミャンマーにおけるフードバリューチェーンの構築のための具体的な方策の検討を開始することを確認。



2 出席者

日本側: 西川農林水産大臣(共同議長)、樋口駐ミャンマー日本国大使、JICA、JETRO、日本の農業・食品関係企業等(※)の代表

※ 井関農機、クボタ、クールジャパン機構、国分、サタケ、損害保険ジャパン日本興亜、日本工営、日本通運、日本農業機械工業会、前川製作所、丸紅、三井住友銀行、三井物産、ヤンマー

ミャンマー側: ミン・フライン農業灌漑大臣(共同議長)、ウィン・ミン商業大臣、商工会連盟、米穀連盟等



日・アセアン間でのフードバリューチェーン構築に関する動き

日・ASEAN特別首脳会議(2013年12月14日 東京)において合意された、日・ASEAN友好協力に関するビジョン・ステートメント 実施計画に、『生産から消費に至るフードバリューチェーンに関する官民連携の協力を促進』を明記

越 日越農業協力対話第1回ハイレベル会合

- 2014年6月26日、ハノイにて、日本企業(11社)、JICA、JETRO等の参加を得て開催。
- 日越の官民が連携し、第2回会合での承認を目指し、中長期ビジョン(モデル地域設定、計画期間5年)を策定することを確認。

課題	モデル地域	取組の概要
(生産) 生産性・付加価値の向上	ゲアン省	○ 灌漑整備、参加型水管理、農薬・肥料使用適正化、農民組織強化
(加工・製造) 食品加工・商品開発	ラムドン省	○ 食品加工・観光などを含めた6次産業化の促進
(流通・消費) 流通改善・コールドチェーン	ハノイ市・ホーチミン市	○ 消費者ニーズへの対応、鮮度保持 ○ 民間投資によるコールドチェーン整備



ミャンマー 日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第1回ハイレベル会合 (2014年9月23日) → 前頁参照

ASEAN 第36回ASEAN農林大臣会合(第36回AMAF会合)



- 西川大臣のプレゼンに対し各国大臣より支持が表明され、共同宣言に以下が記述。
 - 我々は、日ASEANフードバリューチェーン構築のための官民連携協力に関するイニシアティブを支持
 - 有識者会議の設置と「グローバル・フードバリューチェーン戦略」の活動の実施に留意

ASEAN+3 第14回ASEAN +3 農林大臣会合(第14回AMAF+3会合)

- 共同宣言に以下が記述。
 - 我々は、ASEANのいくつかの国におけるフードバリューチェーン構築のための官民連携協力についての日本の支援に留意。我々はこのイニシアティブを地域レベルに拡大することを奨励。

ASEAN関連首脳会議 (2014年11月 ミャンマー・ネーपीドー)へ

西川農林水産大臣の海外出張の概要について

西川農林水産大臣は、9月22日(月曜日)から9月25日(木曜日)までの間、ミャンマーに出張し、ASEAN+3(日中韓)農林大臣(AMAF+3)会合等に参加するとともに、政府要人とのバイ会談等を行いました。

日程及び場所

日程：平成26年9月22日(月曜日)～9月25日(木曜日)

場所：ミャンマー(ネーピードー)

概要

1. 日ミャンマー農林水産業・食品協力対話

日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第1回ハイレベル会合(共同議長：西川大臣、ミン・フライン農業灌漑大臣)を開催し、ハイレベル会合には、日本の企業・団体(14社)、樋口大使、JICA、JETROの代表も出席しました。今後、両国の関係者が協力し、ミャンマーにおけるフードバリューチェーン構築のための具体的な方策の検討を開始すること等に合意し、議事録に署名しました。

2. 第36回 ASEAN 農林大臣会合

西川大臣より、ASEAN地域において、生産から、加工、流通、消費に至るフードバリューチェーン構築のための官民連携による取組を推進していきたい旨説明し、ASEAN側は本取組に対して支持を表明しました。

また、共同プレスステートメントにもその旨が明記されました。

3. 第14回 ASEAN+3 農林大臣会合

ASEAN+3 緊急米備蓄(APTERR)及びASEAN食料安全保障情報システム(AFSIS)の進捗状況、1年間のASEAN+3の枠組みの下での協力実績等につき承認されました。

西川大臣より、APTERR、AFSIS等農林水産業協力を通じ、ASEAN地域の農業の発展、食料安全保障の強化について引き続き貢献していくこと、ASEAN地域におけるフードバリューチェーン構築に積極的に取り組むことを表明しました。また、日本産食品の輸入制限について、科学的根拠に基づく早期緩和・撤廃を要請しました。

会合の成果は、共同プレスステートメントとして発出されました。

4. 政府要人とのバイ会談等

(1) テイン・セイン大統領、ミン・フライン農業灌漑大臣、ウィン・ミン商業大臣

今回の二国間対話等を通じた両国間の農林水産業・食品分野の協力関係の強化等について幅広く意見交換を行いました。

(2) 韓長賦（カン・チョウフ）農業部長（中国）

日本産食品の輸入制限について、科学的根拠に基づく早期緩和・撤廃を要請するとともに、今後の対話の必要性について意見交換を行いました。

参考

平成 26 年 9 月 19 日付けプレスリリース「西川農林水産大臣の海外出張について」

<http://www.maff.go.jp/j/press/kokusai/renkei/140919.html>

＜添付資料＞

- ・ 第 36 回 ASEAN 農林大臣(AMAF)会合 共同プレスステートメント(英文)
- ・ 第 36 回 ASEAN 農林大臣(AMAF)会合 共同プレスステートメント(仮訳)
- ・ 第 14 回 ASEAN+3 農林大臣(AMAF+3)会合 共同プレスステートメント(英文)
- ・ 第 14 回 ASEAN+3 農林大臣(AMAF+3)会合 共同プレスステートメント(仮訳)
- ・ 日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第 1 回ハイレベル会合の議事録(英文)
- ・ 日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第 1 回ハイレベル会合の議事録(仮訳)

お問い合わせ先

大臣官房国際部国際政策課

担当者：井上、川上（出張日程・目的関係）

代表：03-3502-8111（内線 4320）

ダイヤルイン：03-3502-5851

FAX：03-3502-8084

大臣官房国際部国際経済課経済連携チーム

担当者：三嶋、西堀（AMAF+3 会合関係）

代表：03-3502-8111（内線 3472）

ダイヤルイン：03-3502-8087

FAX：03-5511-8773

大臣官房国際部国際協力課

担当者：新名、津山、田中（日ミャンマー協力対話関係）

代表：03-3502-8111（内線 3513）

ダイヤルイン：03-3501-7402

FAX：03-3502-8083

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>

第 36 回 ASEAN 農林大臣会合
(第 36 回 AMAF 会合)

2014 年 9 月 23 日、ミャンマー・ネーピードー

共同プレス・ステートメント

1. 我々、ASEAN 諸国の農林業担当大臣は、ミャンマーのミン・フライン農業・灌漑大臣の議長の下、2014 年 9 月 23 日にミャンマー・ネーピードーで第 36 回 ASEAN 農林大臣（AMAF）会合を開催。

(略)

19. 我々は、日 ASEAN フードバリューチェーン構築のための官民連携協力に関するイニシアティブを支持するとともに、食品関係の民間企業の代表や関係機関、学識経験者、関係府省、地方政府等を構成員とする有識者会議の設置と「グローバル・フードバリューチェーン戦略」の策定といった活動の実施に留意した。

(略)

24. 我々は、第 37 回 AMAF 会合を 2015 年にフィリピンで開催することに合意した。

25. 我々は、第 36 回 AMAF 会合に際してのミャンマー政府及び国民の暖かな歓待と見事な運営に心からの謝意を表明した。

参加閣僚リスト (略)

第 14 回 ASEAN 及び中国、日本、韓国の農林大臣会合 (第 14 回 AMAF+3 会合)

2014 年 9 月 24 日、ミャンマー・ネーピードー

共同プレス・ステートメント (仮訳)

1. ASEAN 諸国の農林大臣と中国、日本及び韓国の農業大臣は、ミャンマーのミン・フライン農業・灌漑大臣の議長の下、2014 年 9 月 24 日にミャンマー・ネーピードーで第 14 回目の会合を開催した。
2. 我々は、食料及び農林業に関する ASEAN+3 の協力が、ASEAN との東アジア共同体を構築する長期目標に向けた推進力として主要な手段の一つであることを再確認し、日中韓が、ASEAN 共同体のロードマップ（2009-2015）の実施を継続して支援すること、ASEAN 共同体ポスト 2015 ビジョンに貢献することを推奨した。
3. 2013-2014 年の ASEAN+3 協力を振り返り、我々は、ASEAN+3 協力戦略（APTCS）枠組みの下での様々な実施中の活動、特に食料安全保障とバイオエネルギー、気候変動緩和と適応、持続的森林管理、農業研究開発、越境性病虫害の管理と撲滅、人材育成の分野の実施で良い進展があることを歓迎した。
4. 我々は、ASEAN+3 緊急米備蓄（APTERR）協定の実施で良い進展があったことが賞賛されたことに留意した。我々は、備蓄米の寄附の量が全体で約 6,730 トンであったことに留意した。備蓄米のうちの 6,150 トンが、フィリピンでハイエン台風による被害を受けた人々に分配された。これに関し、我々は、被害を受けた人々へ速やかに貢献をしていくことが、ASEAN+3 地域の食料安全保障の確保という ASEAN+3 全ての国の共通の目標を達成する APTERR の鍵となる課題であると再確認した。我々は、APTERR が地域の食料安全保障に取り組みこれを確保するための恒常的な組織として機能すると

いう重要な役割を繰り返した。

5. 我々は、ASEAN 食料安全保障情報システム（AFSIS）の恒常的な組織への移行の進捗に留意した。我々は、AFSIS 事務局の能力向上のためになされた日中韓による支援に感謝した。
6. 我々は、ASEAN+3 食料安全保障とバイオエネルギーに関する包括的戦略の実施支援のため、（i）第6回食料安全保障ラウンドテーブル会合（中国・南寧で2014年11月開催予定）、（ii）「ASEAN+3 小規模バイオエネルギーイニシアティブ」に関する実践活動報告（iii）AFoCo ランドマーク計画の立ち上げ式（ミャンマー・ネーピードーで2014年3月開催）、（iv）第7回東アジア植物品種保護フォーラム（ラオス・ビエンチャンで2014年8月7日開催）を含む様々な活動の成果に満足を表明した。
7. 我々は、ASEAN のいくつかの国におけるフードバリューチェーン構築ための官民連携協力についての日本の支援に留意した。このイニシアティブの立ち上げについて、我々はこのイニシアティブを地域レベルに拡大することを奨励した。
8. 我々は、第15回 AMAF+3 会合を2015年にフィリピンで開催することに合意した。
9. ASEAN と日中韓の閣僚は、第14回 AMAF+3 会合に際してのミャンマー政府及び国民の暖かな歓迎と見事な運営に心よりの謝意を表した。

参加閣僚リスト（略）

日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第1回ハイレベル会合の議事録

日本国農林水産大臣及びミャンマー連邦共和国農業灌漑大臣は、2014年9月23日、ネーピードーにて、両国の政府、関係機関、多数の民間企業の出席を得て、日ミャンマー農林水産業・食品協力対話（以下「協力対話」という。）第1回ハイレベル会合を開催した。

双方の大臣は、これまでの両国間における農林水産分野の交流・協力の実績を評価するとともに、2013年5月の両国農業大臣間での会談や12月の安倍総理とテイン・セイン大統領の首脳会談を踏まえ、両国の農林水産分野の交流・協力を更に強化していく必要性について一致した。

このような観点から、双方の大臣は、関係省及び団体等の参画の下、ミャンマーの農林水産業及び食品産業の包括的发展に向け、意見交換を行い、新たな枠組としての本協力対話の立ち上げを歓迎するとともに、以下の点について確認した。

- ・ この枠組みの下で両国の公共及び民間セクターの参加を得て、日本企業の民間投資と経済協力の連携による農林水産物の生産から加工、流通、消費に至るフードバリューチェーンを構築する。
- ・ 両国の関係者が協力し、ミャンマーにおけるフードバリューチェーンの構築のための具体的な方策の検討を開始する。

2014年9月23日 ネーピードー

日本国農林水産省

ミャンマー連邦共和国農業灌漑省

大臣 西川 公也

大臣 ミン・フライン